

平成28年度の決算報告

村のお財布事情

皆さんの納めた税金等がどのように使われたのかをご報告します。なお、詳しい資料は企画経営課(役場行政棟3階)で閲覧できるほか、村公式ホームページでもご覧いただけます。

■問い合わせ 企画経営課財政経営担当(☎282-1711 内線1334)

●一般会計

福祉や教育、道路の整備等、村政運営の基本となる会計です。

歳入	歳出	差し引き
217億円	211億円	6億円

平成28年度は
6億円の黒字決算!

●特別会計

公共料金や利用料など特定の収入を国民健康保険や介護サービス、下水道といった特定の事業に充てる会計のことです。特別会計では歳入・歳出を事業内でやりくりしています。

事業名	歳入	歳出	差し引き
国民健康保険事業	37億5,485万円	37億1,159万円	4,326万円
後期高齢者医療	3億8,154万円	3億7,630万円	524万円
介護保険事業	27億9,253万円	24億7,058万円	3億2,195万円
介護サービス事業	949万円	827万円	122万円
東海駅西土地地区画整理事業	2億1,701万円	1億3,017万円	8,684万円
東海駅東土地地区画整理事業	1億1,970万円	9,403万円	2,567万円
東海駅西第二土地地区画整理事業	1億1,015万円	1億563万円	452万円
東海中央土地地区画整理事業	11億4,534万円	9億9,379万円	1億5,155万円
公共下水道事業	17億4,944万円	16億7,795万円	7,149万円

●基金

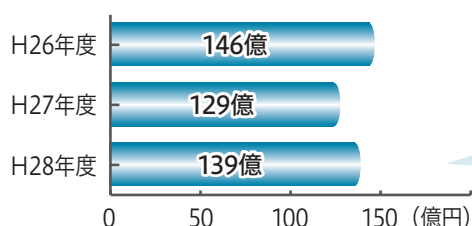
将来の支出等に備えて積み立てておくお金。

区分	現在高	増減率 (前年度比)
①財政調整基金	70億6,303万円	7.3%
②減債基金	27億4,953万円	△12.1%
③特定目的基金	33億499万円	36.6%
④定額運用基金	7億8,304万円	1.4%
合計	139億59万円	7.8%

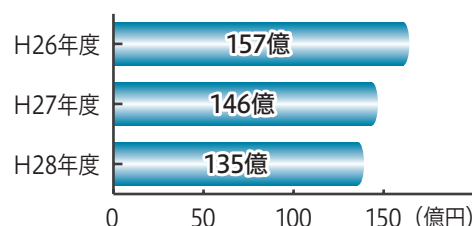
●村債

国や金融機関から借り入れる資金。

区分	残高	増減率 (前年度比)
①一般会計	34億8,781万円	△15.8%
②公共下水道事業	66億2,207万円	△4.4%
③水道事業	19億7,174万円	△3.6%
④病院事業	14億126万円	△4.3%
合計	134億8,288万円	△7.5%



「(仮称)歴史と未来の交流館」の建設や東海駅西口広場の再整備工事のための積み立てを行ったため、前年度比で+10億円。





歳入 217億円

(前年度比 10億円増)

歳出 211億円

(前年度比 13億円増)

差額 6億円

このうち1億円を平成29年度に実施する事業へ繰り越すため、実質的な差額(実質収支額)は5億円となります。その2分の1の金額を基金として積み立て、今後の支出に備えます。

固定資産税等の減少により
-5.2億円。

東日本大震災復興交付金
基金返還金等の増加により
+12億円。

阿漕ヶ浦公園ホッケー場改
修工事・東海駅西口広場再
整備基金積立金等の増加に
より+1.9億円。

電源立地地域対策交付金等
の増加により+8.4億円。

医療機器購入費・原子力災
害対策施設整備工事終了
に伴う工事費の減少によ
り-1.4億円。

東日本大震災復興交付金
基金繰入金・公立学校施設
整備基金繰入金等の減少
により-2.9億円。

村債の元金や利子の償還
等に使われたお金

東日本大震災復興交付金
基金残余金の増加により
+12億円。

村民1人当たりの
負担31万円※

村税 119億円
構成比 54.8%
村民税や固定資産税、都
市計画税など

国庫支出金 35億円
16.1%
村の特定の事業に対して
国から交付されたお金

繰入金 14億円
6.5%
基金や特別会計からの受
入金

県支出金 11億円
5.1%
村の特定の事業に対して
県から交付されたお金

その他 38億円
17.5%
使用料や手数料、交付金、
繰越金など

民生費 51億円
福祉や医療などに使われ
たお金
構成比 24.2%

総務費 40億円
19.0%
コミュニティセンターの運
営や防災対策など、村の
運営全般に使われたお金

土木費 38億円
18.0%
道路や公園の整備等に使
われたお金

教育費 30億円
14.2%
幼稚園や小中学校、社会
教育等に使われたお金

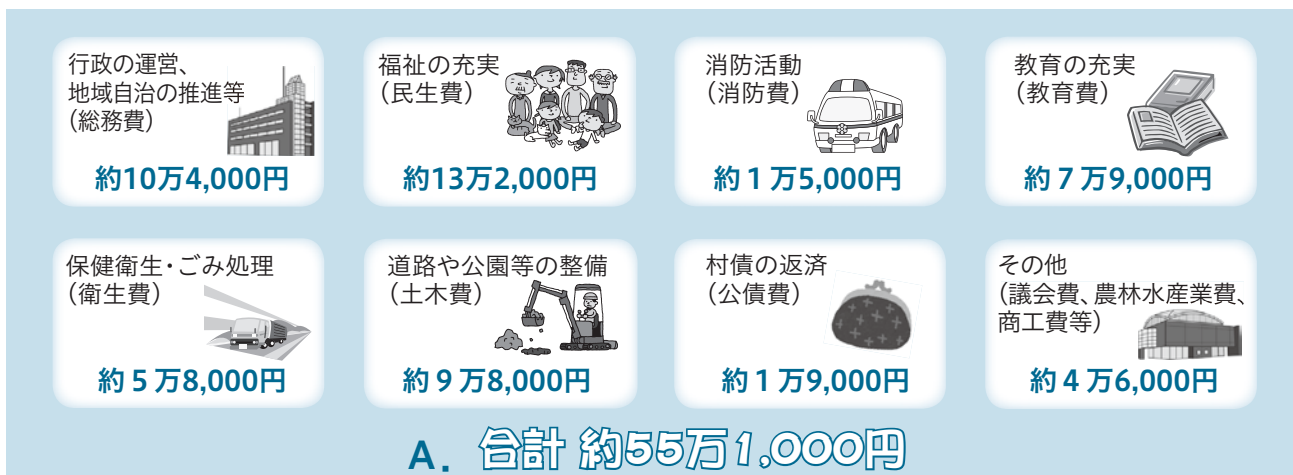
衛生費 22億円
10.4%
保健衛生や環境衛生、ご
み処理などに使われた
お金

公債費 7億円
3.3%

その他 23億円
10.9%
議会・消防・商工・農林水
産業に使われたお金

※平成29年3月31日現在の住民基本台帳に基づく人口(3万8,336人)から算出しています。

Q. 村民1人あたりに使われたお金は？



※平成29年3月31日現在の住民基本台帳に基づく人口(3万8,336人)から算出しています。

Q. 村のお財布状況は？

A. 赤字や資金不足がなく、 今のところ健全に運営されています！

この数値を超えると“危険信号”。健全化へ向けた取り組みが必要となります。

東海村は赤字や資金不足がないため、実質公債費比率を除く全ての項目で、数値が算出されませんでした。また、実質公債費比率についても危険度を示す25%を大幅に下回っており、村の財政は健全といえます。

指 標	どんな比率を表すの？	東海村	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	13.03%
連結実質赤字比率	全ての会計（一般会計、特別会計、公営企業会計）の赤字の割合	赤字なし	18.03%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	4.0%	25%
将来負担比率	将来負担が見込まれる負債の割合	該当なし	350%
資金不足比率	公営企業ごとの資金の不足額の大きさを示す割合	資金不足なし	20%

【経常収支比率】

84.2% (県内平均90.2%)

村の借金の返済など義務的な経費に、村税などの経常的な財源が充てられる割合を示す数値。数値が低いほど、村独自の行政サービスに使えます。

県内で
2番目に低い

【財政力指数】

1.52 (県内平均0.70)

標準的な行政サービスを提供するためのお金を、どれだけ自力で調達できるかを示す数値。数値が高いほど財政力が強いといえます。

県内で
1番高い！

【公債費負担比率】

4.3% (県内平均12.0%)

村税などの経常的な財源のうち、村の借金の返済額が占める割合を示す数値。数値が低いほど財政負担が軽いといえます。

県内で
1番低い！

村では… 無理のない着実な財政運営を目指していきます！

固定資産税等の村税が減少していく中で、医療や福祉等にかかるお金、施設の老朽化に伴う維持・管理にかかるお金が増えてくる見込みです。今後も、節約に努めながら、限られたお金を有効に活用していきます。

